



Vol. 05
2023

鈴木設計ニューズレター

Suzuki Architectural Design Office

「分らないという壁を壊していきたい」

小野 真鈴

2022年4月に構造担当として入社し、約八か月が経ちました。昔からものづくりに携わりたいと考えておりました。中学一年生の時、東日本大震災を経験し、安全な建物を設計したいと思うようになり、今では構造設計の道に進んでいます。

設計をしていて難しいと感じることは、まだできていない建物をイメージすること、計算一つにしても他と連動して考えないといけないことなどです。

私はまだ経験も浅く、どのように考えていけばよいのか分からないことが多々あります。自分のまだ分からないという壁を一つずつ着実に壊していきたいと思っています。「良い仕事はよい人間関係から」と言いますが、本当にこの会社に入社できてよかったと思っております。入社してから楽しく仕事ができ、一級建築士も合格できました。これからも日々努力を重ねて、より良い建築を設計していきたいと思えます。



小野 真鈴

庄内中高一貫校増改築工事

基本設計・実施設計（令和3年5月～令和4年4月）鶴岡市

現存する鶴岡北高及び鶴岡南高を併設型の中高一貫校とするプロポーザルの特定により、設計を行いました。

将来の探求型学習空間の提案と合わせ、劣化改修計画、両校を統一したデザインとなるよう計画しました。

基本設計時には、両校の生徒と「未来の学び場」や「庄内地域の良さ」について議論を行い、生徒立案のピクトグラムをサイン計画に反映させています。

玄関に隣接したメディアホールは中庭に面したのびやかな空間としています。

木質空間を点在させた木質ラボ（主体的学習空間）により、生徒の主体性や創造性を後押しするような空間としています。木質ラボでは、部分的に耐震壁を移動するなど、ホール空間のつながりを高めながら、既存の素材を表すこととしました。

単に新しく仕上げるだけでなく、これまでの既存校舎としての文脈を感じられる空間として計画しました。

設計後には建物名称が公募により「致道館」と決まり、地域の文化力の高さを実感しました。これから、生徒と共に成長していくことを期待しています。

（千葉 巧也）



メディアセンターイメージ（南高）



木質ラボイメージ（南高）

四国研修旅行

昨年11月に3泊4日の日程で四国へ研修旅行に行ってきました。

香川・愛媛・高知を巡り、各地の建築・食・芸術・文化を堪能しました。香川県庁や猪熊弦一郎現代美術館、金刀比羅宮などの四国を代表する建築を学びました。

道後温泉街、内子の街歩き、椿原の街歩きなど、土地に根付いた

街づくりを見ることができました。久しぶりの遠方の旅、知らない土地を歩く楽しさを改めて思い出しました。

今回の学びを今後の業務へ活かしていきたいです。

（阿部 佳耶）



所員で作成している旅のしおり



金刀比羅宮にて、785段の石段を登って記念撮影！



○目次

- ・ 所員 小野 真鈴
- ・ 庄内中高一貫校増改築工事
- ・ 四国研修旅行

○人物紹介

おのまおり

小野真鈴 / 岩手県盛岡市出身 / 鈴木建築設計事務所 所員

2022.03 ~ 神奈川大学大学院工学研究科建築学専攻
修士課程卒業

2022.04 ~ (株) 鈴木建築設計事務所で構造設計・監理を担当

○庄内中高一貫校の基本情報

所在地 山形県鶴岡市若葉町地内
主要用途 学校
敷地面積 34,553.46 m²
延床面積 9,989.89 m²
構造 R C 造 (一部鉄骨造)
階数 地上4階

施主 山形県知事
基本・実施設計 鈴木建築設計事務所
藤原 荒木 齋藤 千葉 大川
設計期間 令和3年5月～令和4年4月

○お問い合わせ等

株式会社 鈴木建築設計事務所

Suzuki Architectural Design Office

代表取締役社長 藤原 薫



Instagram



ホームページ